



道徳教育が必要なのはだーれだ？

小中学校の教科書展示会があった。「道徳」が教科になり、国語算数同様評価の対象となる。学習指導要領で、「善悪の判断、自律、自由と責任」が小学校の道徳の第一に上げられた。

お友達の為に国政を曲げたことは森加計を見れば明らか。「自由と責任」と云うが、野党議員の質問に答弁と称して全く関係の無い話をだらだらする。まるで「政治とは詭弁」と云うようだ。こんな態度が道徳的だろうか？

先ず安倍首相に道徳教育をすべきでは？

「いい加減にしろ」

これは、委員会で、参考人として発言した癌患者に自民の穴見議員が飛ばしたヤジ。

ヤジを責められ「皆様に不快な思いを与え

たとすれば、心からの反省と共に深くお詫び申し上げる」と弁明。

この云い方は「不快に思われたなら詫びるが、自分は不快な思いを与えたとは思っていない」ということ。

全く謝っていない。

先生に叱られたら

小学校の授業の時、何かで先生に叱られたでしょう。「自分は先生に不快な思いをさせたとは思っていないけど、先生が不快に思っただけです」と云ったら・・・先生は逆上？

更に「道徳教育の教科化を決めた自民党の国会議員と同じ事を云っただけなのに、どうして叱られるの？」と云ったら・・・

メチャクチャおこらせそう。

皆さんはどう思われますか？

石垣島のハーリー

沖縄県石垣市 石垣港にて

二〇一八年六月



石垣島では毎年旧暦五月四日に海人(うみんちゅ)漁師のことが、海の恵みに感謝し航海の安全と豊漁を祈願する。「ハーリー」だ。

今年は六月十七日がその日。爬龍(ハーリー)と呼ばれる十人余りが乗る細長い舟による競漕が行われる。

島の各地で開かれるお祭りだ。熱い日差しもなんのその。弁当にジュースやビール片手に観戦。海人だけでなく、中学生から一般の人も職場や地域等でチームを組んで出場できる。

何と云ってもハイライトは海人によるレース。一般人の数倍の距離を勇壮に漕ぐ。凄いのには「転覆ハーリー」。

レース途中、審判が合図すると、一斉に舟を転覆させる。漕ぎ手は泳ぎながら、舟を起こして漕ぎ、ゴールを目指す。

石垣島では毎年旧暦五月四日に海人(うみんちゅ)漁師のことが、海の恵みに感謝し航海の安全と豊漁を祈願する。「ハーリー」だ。

今年は六月十七日がその日。爬龍(ハーリー)と呼ばれる十人余りが乗る細長い舟による競漕が行われる。

島の各地で開かれるお祭りだ。熱い日差しもなんのその。弁当にジュースやビール片手に観戦。海人だけでなく、中学生から一般の人も職場や地域等でチームを組んで出場できる。

何と云ってもハイライトは海人によるレース。一般人の数倍の距離を勇壮に漕ぐ。凄いのには「転覆ハーリー」。

レース途中、審判が合図すると、一斉に舟を転覆させる。漕ぎ手は泳ぎながら、舟を起こして漕ぎ、ゴールを目指す。

